

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼 作成

令和六年五月十九日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國 新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
1	<a href="#">淡島神社</a>	旧地	<a href="#">古庄のおしゃもじさん</a>		神社隣の畑に大正末期まで樹木が1本立っていた。ここを「おしゃもじさん」と呼んでいた。（東豊田郷土誌）	×	静岡市葵区	<a href="#">古庄2丁目 字宮越平1-83</a>	社宮司祠	左口社	社宮司祠			左宮司社 (さぐつさん)	2022/7/23
2	<a href="#">横田町西宮神社</a>	旧称	左口神社	猿田彦命	昭和三年に左口神社から西宮神社に改称 院内（陰陽師）が信仰する北辰妙見と習合したシャグジと思われる。	○	静岡市葵区	<a href="#">横田町5-24</a>	左口司社	左口神社 恵比須社				左宮司	2022/11/10
3	<a href="#">新伝馬白髭神社</a>	合祀	左口神社	八衢比古命 八衢比賣命	かつて隣村の松富下組村の貴庵寺境内に鎮座した左口神社を産土神として信仰。 弘化三年、白髭神、左口神を勧請奉祀して白髭社と称す。 (静岡市神社名鑑)	○	静岡市葵区	<a href="#">新伝馬3丁目14-3</a>							2023/2/4
4	<a href="#">門屋八幡宮</a>	境内社	左口神社	八衢比古命 八衢比賣命	八幡宮は門屋村の産土神であり、村内にあった小祠が境内に寄せられている。 左口神社もその一つである。	○	静岡市葵区	<a href="#">門屋1093</a>	社宮司社		社宮司社			社宮司社 (おさぐつさん)	2023/2/4
5	<a href="#">郷島浅間神社</a>	合祀	三五神社	八衢比古命 八衢比賣命 久那斗神	神社名鑑では浅間神社の祭神に八衢比古命と八衢比賣命も挙げられているが、三五神社の合祀に関する記載はない。 一方、明治三十一年に合祀したという三島神社は郷島に鎮座した記録がないため、三五神社の誤記と思われる。	○	静岡市葵区	<a href="#">郷島373</a>	左宮司社		左口司社			左口司社	2023/2/4
6	<a href="#">落合左口神社・ 白髭神社</a>	本社	左口神社	猿田比古命 誉田別命	寛永八年創建。玉川地区では白髭神社が主流であり、合祀等を含め、当社が唯一の現存するシャグジのようである。	○	静岡市葵区	<a href="#">落合1404</a>	左口司社						2021/7/25
7	<a href="#">大渡神社・ 佐久地神社</a>	合祀	佐久地神社	猿田彦命	明治八年、黒俣村上和田にあった佐久地（さくち）神社を大渡神社に合併（安倍郡清澤村誌）	○	静岡市葵区	<a href="#">黒俣1098-1</a>	左宮司	左口神社	左宮司社				2021/9/20
8	<a href="#">安東熊野神社 境内社 五社神社</a>	合祀	佐口神社	八衢比古命 八衢比賣命 久那斗神	五社神社（荒神社、津島神社、塞神社、稲荷神社、佐口神社） 大正十四年境内社を合併	○	静岡市葵区	<a href="#">安東1丁目6-4</a>	左口司					左口司社	2022/6/28
9	<a href="#">北沼上八柱神社</a>	合祀後 分祀	左口神社	久那斗神 八衢比古命 八衢比賣命	大正二年八月二十四日同所坂下鎮座無格社左口神社を合祀 昭和二十二年同左口神社を分祀（現在地不明）	?	静岡市葵区	<a href="#">北沼上915</a>	左口司社	左口社					2022/8/28
10	<a href="#">田ヶ谷左口神社</a>	本社	田ヶ谷左口神社		千代田誌に「シャモジ社」とある。 かつては山上で祀っていたが、社地が崩れ、現在地に遷したという。	○	静岡市葵区	<a href="#">北沼上字田ヶ谷667</a>							2022/8/28 2023/9/17
11	<a href="#">川合社口神社 (お杓子さん)</a>	旧地	川合社口神社 (お杓子さん)	不詳	川合と上土との中間の沿道にあった小祠。昭和十年頃同地に建設された清水水産 罐詰工場が管理していた（千代田誌）が、現在は痕跡を見出せない。	×	静岡市葵区	<a href="#">川合2丁目(社口)</a>						左宮神社	2022/10/8
12	<a href="#">瀬名川菅原神社</a>	境内社	社宮司神社		文献資料は江戸期の地誌以外に見当たらないが、境内社として現在も祀られている。	○	静岡市葵区	<a href="#">瀬名川2丁目 字小坂給18-16</a>	左宮司社	三狐神	左宮司社			左宮司社	2023/7/2
13	<a href="#">丸子稲荷神社元宮</a>	境内社	左口神社	猿田彦命	丸子稲荷神社は昭和五十三年に本社を当地西側に遷宮 残地神域は稲荷神社元宮として、境内社の左口神社（猿田彦命）などを奉斎 （瀧本雄士「丸子路の史跡めぐり」）	○	静岡市駿河区	<a href="#">丸子字泉ヶ谷</a>	左口司社		社宮司祠				2022/9/11
14	<a href="#">丸子津島神社</a>	境内社	左口神社	猿田彦命	独立社殿に祀られる。	○	静岡市駿河区	<a href="#">丸子字戸斗谷1813</a>	左口司社	左口社	左宮司			左口社	2022/9/11
15	<a href="#">丸子谷津神社</a>	合祀	左口神社	猿田彦命	左口神社 祭神猿田彦命（長田村誌）	○	静岡市駿河区	<a href="#">丸子字細工所4790-1</a>	左口司社		社宮司社			左口社	2022/9/11
16	<a href="#">用宗浅間神社</a>	境内社	左宮司社		神社名鑑では左口社とされる。	○	静岡市駿河区	<a href="#">用宗城山町20-5</a>	社宮司社		社宮司社			社宮司社	2023/2/11
17	<a href="#">鎌田八幡神社</a>	合祀	左口神社	猿田彦命	鎌田村字左口にあった左口神社（祭神猿田彦命）を明治二十四年十二月八日に合祀（静岡市神社名鑑）	○	静岡市駿河区	<a href="#">鎌田382</a>	社宮司社		社宮司			社宮司社	2022/9/11
18	栗原社宮司社	旧地	栗原社宮司社		（東豊田郷土誌）	×	静岡市駿河区	栗原	左宮司社	左口社	左宮司社			左宮司社	2022/5/5
19	中吉田左宮司社	旧地	中吉田左宮司社		「電車線踏切の北側、吉田川東岸の道の傍だったが、この辺り一昨年の七夕豪雨の 出水で変貌し跡方もない。（民俗しずおか第15号「左宮祠覚書」昭和51年12月）」	×	静岡市駿河区	中吉田字散田口1194	左宮司社	左口社	左宮司祠			左宮司社	2023/4/1



静岡のシャグジ踏査集

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國 新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
38	<a href="#">小島のおしゃもじさん</a>	小祠	小島のおしゃもじさん		拜むと子供の夜泣きがおさまるといわれている。 シャグジであることは忘れられてしまったようだ。	○	静岡市清水区	<a href="#">小島町字栗原南沢入口</a>							2022/6/4
39	<a href="#">尾羽のおしゃもじさん</a>	小祠	尾羽のおしゃもじさん		尾羽の宮平に「おしゃもじさん」という小高い場所があって、ここを掘り起こすと「オコリ」をふるうと言いつたに聞かれていた。今はみかん畑となっている。 (民話・伝説・小字の由来「いはほら」)	×	静岡市清水区	<a href="#">尾羽字宮平</a>							2023/4/29
40	<a href="#">杉山八柱神社</a>	合祀	作工司大明神	不詳	旧庵原郡杉山村にあった氏神八社を合祀した神社であり、八社のうち「作工司大明神」がシャグジと考えられる。	○	静岡市清水区	<a href="#">杉山4 2 6</a>	左口司社		左宮司社			左宮司社	2023/4/29
41	<a href="#">伊佐布伊勢神社</a>	境内社	左口神社	不詳	「左口社は大上より明治八年に遷宮す。大上の最旧家と称する朝倉角太郎屋敷内に在りしものなり」（庵原村誌）また、下伊佐布にも山田家が祀る左口社があった。	○	静岡市清水区	<a href="#">伊佐布4 0 3</a>	左口司社		左宮司社			左宮司社	2021/12/19
42	<a href="#">押切八幡神社</a>	相殿	左口神社		八幡神社、白髭神社、左口神社による三社相殿。江戸時代後期には既に相殿となっており、当時左口神社は「三狐神」と称した。 三狐神は田の神とされる。読みは「さぐじ」であり、シャグジの一種でもあるため、その後「左口」の表記に変更されたものと思われる。	○	静岡市清水区	<a href="#">押切1 1 9 8</a>	三狐神	三狐神社	三狐神				2022/10/15
43	<a href="#">蜂ヶ谷八幡宮</a>	境内社	佐口神社		佐口（さくう）神社。合祀の経緯等を示す資料が見当たらない。	○	静岡市清水区	<a href="#">蜂ヶ谷字八幡山3 0 6</a>							2023/9/10
44	<a href="#">下野浅間神社</a>	境内社	三狐神		三狐神は浅間神社境内の別棟に奉斎される十二天尊と共に祀られる。 当社が鎮座する字前田に接する字三狐神に鎮座していたシャグジと思われる。	○	静岡市清水区	<a href="#">下野町8 - 2 4</a>	社宮司社		左宮司社			左宮司社	2023/2/6
45	伊場賀茂神社	合祀	斜口神社	斜口宮大神	明治七年五月十一社を合併（浜松市神社名鑑） 明治初年に、旧伊場町にあった八面荒神・神明・十七夜・雨宮・水神・斜口・大日・建速・御誓・木船・伊雑宮などを合祀（浜松の史跡 続編）	○	浜松市中区	<a href="#">東伊場1丁目1 7 - 1</a>						斜口神社 (おしゃぐつま)	未踏査
46	笠井町春日神社	境内社	社宮司神社	猿田彦大神	本町倭下林二鎮座アリシヲ明治七年合併ス（笠井町郷土の俵）	○	浜松市東区	<a href="#">笠井町1 3 4 8 - 1</a>							未踏査
47	赤宮（じゃぐう）神社	本社	赤宮（じゃぐう）神社	猿田彦命	貞観年間の創立と伝えられる。	○	浜松市東区	<a href="#">上西町8 8 3</a>						赤宮神社	未踏査
48	積志町神明神社	合祀	社宮司社	猿田彦命		○	浜松市東区	<a href="#">積志町1 0 2 1</a>							未踏査
49	三社山神社	境内社	赤宮神（しゃぐじん）の祠	赤宮神	オシャモツアマ	○	浜松市西区	<a href="#">入野町4 9 9 0 - 2</a>							未踏査
50	雄踏町山崎三島神社	境外末社	山宮神社	山宮神	しゃぐうじ、おしゃまつさま、祝神、おしゃぐつま 近隣に山宮神（しゃぐじ）公園がある。	○	浜松市西区	<a href="#">雄踏町山崎3 5 4 9</a>						山宮神	未踏査
51	社護司（しゃごじ）神社	本社	社護司（しゃごじ）神社	豊受姫命 佐田彦命		○	浜松市南区	<a href="#">老間町1 1 2</a>							未踏査
52	富屋町貴船神社	小祠	お杓子さま		伏せ貝を吹いたことで斬り殺された山伏を供養するために建てられた地蔵といわれる。願をかけるると病気が治ると言われ、治るとお杓子を上げて納めた。	○	浜松市南区	<a href="#">富屋町</a>							未踏査
53	オシミツアマ	小祠	オシミツアマ		イッケ（同族）の地の神。清水が湧く場所、源平いづれかの落人を祀ったとも伝わる。（引佐町史）	○	浜松市北区	引佐町別所							未踏査
54	オシャグツアマ	小祠	オシャグツアマ		イチモン（同族）の地の神。山裾の檜の下に鎮座（引佐町史）	○	浜松市北区	引佐町谷沢							未踏査
55	細江町三和八幡神社	境内社	左口神社	市杵嶋姫命		○	浜松市北区	<a href="#">細江町三和5 2 7</a>						社宮神社、左口神社（おきもつま、さぐ神）	未踏査
56	三ヶ日町岡本御齒神明宮	境内社	社宮神社	猿田彦神		○	浜松市北区	<a href="#">三ヶ日町岡本1 7 4 4</a>						社宮司神社	未踏査

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼 作成

令和六年五月十九日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國 新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
57	都筑神社	末社	社宮司神社	猿田彦神	八幡宮外二十一社の末社の一つ	○	浜松市北区	<a href="#">三ヶ日町都筑1176</a>						社宮神社	未踏査
58	須倍神社	合祀	社宮神社 社宮神社	船戸神 麓山祇命	外宮に合祀された七十余の村内神社に含まれる。	○	浜松市北区	<a href="#">都田町6284</a>							未踏査
59	社宮（しゃぐう） 神社	本社	社宮（しゃぐう） 神社	岐（ふなど） 神	おしゃぐつ様 悪疫、災禍を防ぎ、子授けの靈験あらたかの御神徳で崇敬を集めている。願主は 杓子を奉納する慣わしがある。	○	浜松市北区	<a href="#">都田町（吉影片瀬）7029</a>							未踏査
60	尾野金刀比羅神社	境内社	尺地宮（寄せ宮）	猿田毘古大 神	明治十四年、尾野地内の各所に祀られていた十二社を集め、寄せ宮としたうちの 一社。正保四年勧請。古い神札には社具土、社口之宮ともある。	○	浜松市浜北区	<a href="#">尾野2617</a>							未踏査
61	中条須賀神社	境内社	社宮神社	猿田彦命	明治七年、村内にあった神明社（中条字水神）・社宮神社（字中川原）・山神社 （字山神）を境内社とした。（浜北の社寺を訪ねて）	○	浜松市浜北区	<a href="#">中条1</a>							未踏査
62	石神神社	本社	石神神社	石神大神	年を追って成長するという富士石（石棒）を祀る。（遠江風土記伝）同様の伝承 は各地にある。	○	浜松市天竜区	<a href="#">石神</a>						石神大神	未踏査
63	社隅地（しゃぐじ） 神社	本社	社隅地（しゃぐじ） 神社			○	浜松市天竜区	<a href="#">石神</a>							未踏査
64	六所神社	境内社	シャゴツアマ		天竜市史に他にも多くのシャグジが挙げられているが、未特定	○	浜松市天竜区	<a href="#">上野226</a>							未踏査
65	新宮神社	合祀	社子神	猿田彦命	「遠淡海地志」では和泉平には帝釈、社子神、天王、大明神があるとされる。 「静岡県周智郡誌」には新宮神社に三社が合祀されているとされている。仏教神 である帝釈を除く三社とすれば、社子神も含まれると考えられる。	○	浜松市天竜区	<a href="#">春野町和泉平857</a>						社子神	未踏査
66	蛭子神明神社	境内社	社子社	猿田彦命	熊切村胡桃平神明社境内に猿田彦を祭神とする社子社あり。（静岡県神社志） 昭和3年、神明神社を蛭子神社に合祀し、社名を蛭子神明神社と改称	○	浜松市天竜区	<a href="#">春野町石打松下222</a>						社子神	未踏査
67	杉小國神社	合祀	社子神社	猿田彦命	明治五年、字高杉にあった社子神社を合祀	○	浜松市天竜区	<a href="#">春野町杉字上ノ山485</a>							未踏査
68	長蔵寺諏訪神社	合祀	社子神社	猿田彦命	明治七年、字西カイトにあった社子神社を合祀	○	浜松市天竜区	<a href="#">春野町長蔵寺225</a>						社子神	未踏査
69	花鳥蛭子神社	旧地	おしゃもじ様		蛭子神社の近くの川あたりにあった、今はない榎の木がおしゃもじ様と呼ばれ まわっていた。（春野町周辺の民俗）	×	浜松市天竜区	<a href="#">春野町花鳥117-3</a>							未踏査
70	堀之内熱田神社	合祀	社護地神社	猿田彦命	明治七年、字明野にあった社護地神社を合祀	○	浜松市天竜区	<a href="#">春野町堀之内216</a>				砂御神		砂御神 （おさごつあん）	未踏査
71	秋葉神社	旧称	秋葉射軍神祠		駿河志料にある秋葉射軍神祠に該当すると思われるが詳細不明	○	沼津市	<a href="#">大塚341</a>	秋葉射軍 神祠						未踏査
72	オシャモツサン	小祠	オシャモツサン	社護神	昌源寺の墓地の南側に鎮座。かつては小さな森の中に祀られていた。	○	沼津市	<a href="#">原（原西町）</a>							未踏査
73	鷲頭神社	合祀	左口神	左口神	左口神は、鷲頭神社が明治七年に鷲頭山頂から現在地に遷座した際、合祀された 村内全神社の中に含まれる。	○	沼津市	<a href="#">大平1824</a>							未踏査
74	諏訪神社 縁結神社	合祀	左口神	左口神	じゃも（疱瘡や皮膚病の痕）を守って下さる神様として祀っていたが、何時の間 にか「オシャモツサン」と呼ばれ、あせも・おできの神として信仰されている。 （大平山桃源院HP）	○	沼津市	<a href="#">大平2943</a>							未踏査
75	石川稲荷神社	合祀	社護師神社	不詳	明治三十七年に社護師神社を合祀	○	沼津市	<a href="#">石川710</a>	社宮司社						未踏査
76	左口（しゃぐう） 神社	本社	左口（しゃぐう） 神社	石凝姥命	子どもを愛する神という。多数の石錘が御神体。（ふるさと愛鷹よもやま話）	○	沼津市	<a href="#">東雉路1204-1</a>	石神社	石神				石神社	未踏査







静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼 作成

令和六年五月十九日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國 新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
110	原方のおしゃもっさん	小祠	原方のおしゃもっさん		原方のおしゃもっさんは子どもの夜泣きの神さんで、夜泣きする子どもで困ってしまうと、おしゃもっさんに油揚げを二、三枚供えて、治るようにお願いした。(ふるさと富士川第二集)	?	富士市	<a href="#">南松野字原方</a>							未踏査
111	平清水のおしゃもっさん	本社	平清水のおしゃもっさん		大正二年の松野村誌に掲載された「南松野村諸神々御社諸寺々寺内目録」(元禄期の作成と思われる)に平清水の社宮神が記載されている。	○	富士市	<a href="#">南松野字平清水</a>							2023/7/30
112	岩本のおしゃもっさん	小祠	岩本のおしゃもっさん	社宮地之大神	歯痛の際、納めてあるしゃもじでさすると痛みが治まるとされる。治れば新しいしゃもじを返す。	○	富士市	<a href="#">岩本(旭町)</a>	左宮司					おしゃもす様	2022/7/30
113	稲荷神社	配祀	社宮司神社	社宮司神	富士支部神社名鑑に稲荷神社の配祀神として社宮司神が記されている。	○	富士市	<a href="#">本市場9 2-1</a>							未踏査
114	横割社宮司神社	本社	横割社宮司神社	社宮司神	安永三年(1774)の棟札に社宮司神の記載がある。(富士支部神社名鑑)	○	富士市	<a href="#">横割本町1 1</a>	石神社	石神祠	石神社			社宮司神社	未踏査
115	原田五社神社	合祀	社護神社	社護神	明治以降に合祀	○	富士市	<a href="#">原田1 1 4 0</a>	左宮司社					石神社 (おしゃもつっあん)	2022/11/19
116	西比奈春日神社	摂社	尺地神社	尺地神	本殿に三つの祠があり、右側に尺地神が祀られている。明治四十年に合祀した尺地神社は現在の日本製紙工場敷地内(字西障子816)に鎮座していた。昭和の初め頃まで旧地も祀られていたが、周囲が藪となり祀る人もいなくなったという。尺地神社に祀られていた石は、現在八坂神社の本殿前に祀られている。(吉永地区神社の歴史)	○	富士市	<a href="#">比奈字蔵屋敷9 6 6</a>	左口司社	シャゴジ	石神祠			尺地神 (おしゃもつっあん)	2022/11/19
117	西比奈八坂神社	関連	尺地神社	尺地神	西比奈春日神社の境外社。隣接する日本製紙工場敷地内(字西障子816)に鎮座していた尺地神社に祀られていた石を本殿前に祀る。(吉永地区神社の歴史)	-	富士市	<a href="#">比奈字西障子8 4 2</a>	左口司社					尺地神 (おしゃもつっあん)	2022/11/19
118	中比奈御崎神社	配祀		尺地神	(富士支部神社名鑑)	○	富士市	<a href="#">比奈字御崎戸1 0 6 6</a>						尺地様 (おしゃもじさま)	2022/11/19
119	江尾のおしゃもっさん	小祠	江尾のおしゃもっさん	尺地神	おしゃごっさんともいう。検地の際に使った間竿(お尺)を納めて祀ったといわれ、「お尺もち」が「おしゃもち」に訛ったとされる。祠の下に湧水があり、毎月1日と15日に塩と米とシバを供える。(広報ふじ平成11年「富士の民話あれこれ」)	○	富士市	<a href="#">江尾</a>						おしゃもつ様	未踏査
120	間門浅間神社	配祀	佐口神(さくじん)社	岐ノ神 猿田彦命	境内社 五社宮神社の一つ(吉永地区神社の歴史)	○	富士市	<a href="#">間門字峰山2 4 0</a>			石神				未踏査
121	鶴無ヶ淵神明宮	境内社	石能神	石神 岐神	(吉永地区神社の歴史)	○	富士市	<a href="#">鶴無ヶ淵字宮後2 9 5</a>							未踏査
122	船津浅間神社	境内社	石自神宮	石自大明神	石自(しゃくじ)神宮。俗称おしゃもっさん。昔検地に使われた物差しを祀ったものと云われている。(郷土誌浮島)	○	富士市	<a href="#">船津6 1 9</a>							未踏査
123	笠梅六所神社	境内社	オシャモツサマ		六所神社北の小祠。風邪や寝小便に御利益ありと伝わる。(磐田昔がたり)	○	磐田市	<a href="#">笠梅7 9 7-1</a>							未踏査
124	西貝塚須賀神社	境内社	社口神社	猿田彦命	勧請年月不詳。明治九年三月、本村字源次郎谷から遷座	○	磐田市	<a href="#">西貝塚1 4 3 7</a>							未踏査
125		合祀	オサグッさま		舎重利の坂の中腹の林の中に祀られていた小祠を合祀									おさぐつあん	未踏査
126	中泉の御社文字様	小祠	社口神社		「石神問答」の山中笑(共古)による「見付次第」に記載あり。中泉代官所の入口に鎮座し、代官所の守護神だったという。現在は磐田駅の一部に保存されている。	○	磐田市	<a href="#">中泉字御殿</a>						おさもつさま	未踏査





## 静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼 作成

令和六年五月十九日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國 新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
146	<a href="#">御社守稲荷</a>	本社	御社守稲荷	倉稲魂命	藤守八箇森の一つ、「椀貸の森」に鎮座。オシャモリサン、オシャモジサン、おしゃもつ様などと呼ばれ、シャグジ信仰と稲荷信仰が習合している。（東京女子大学民俗調査団「藤守の民俗」、大井川町婦人団体連絡会「ふるさとの年中行事」、「大井川町史」）	○	焼津市	<a href="#">藤守字柿崎</a>						御社守稲荷	2022/8/11 2024/4/29
147	<a href="#">藤守八箇森</a>	旧地	オシャモジの森		白鳩が藤守大井八幡宮の御供に用いた杓子を啄み、この森に置いたことに由来する。また、この森には袖切松という大松があったといい、明治の初めまで、ここで躓いた者は必ず袖が切られていたとの伝承があった。	×	焼津市	<a href="#">藤守字松木根</a>							2024/4/29
148	<a href="#">吉永八幡宮</a>	末社	社子神社	少彦名命	元は字西川原にあり、文政年中に字上島の熊野神社境内社となった。さらに明治九年、熊野神社と共に吉永八幡宮境内に遷座した。（吉永村誌）	○	焼津市	<a href="#">利右衛門字大島 8 8 3</a>							2023/8/19 2024/5/19